



「コンクリート技術に関するSVR-JUSCEジョイントセミナー」が開催される

2008年6月10日にスウェーデンのボルスタにおいて、Swedish Society of Civil and Structural Engineers (SVR) と土木学会のコンクリート技術に関するジョイントセミナーが開催された。土木学会コンクリート委員会では、過去に台湾、モンゴル、韓国、ベトナムでジョイントセミナーを行っているが、欧米諸国とも密接な協力関係を築くため、今回はアジア以外で初めて開催されたセミナーである。ジョイントセミナーは、デンマーク、フィンランド、アイスランド、ノルウェー、スウェーデンの北欧5ヶ国で構成されるNordic Concrete Federation主催のシンポジウムに特別セッションを設けて行われた。

今回のジョイントセミナーでは、テーマを「Future Perspectives towards the Development of Concrete Technologies」と設定し、6件の発表が行われた。日本からは、堺孝司氏(香川大学教授)がコンクリートの環境マネジメントについて、六郷恵哲氏(岐阜大学教授)が複数微細ひび割れ型繊維補強セメント複合材料について、筆者が時間依存型構造解析手法について、それぞれ最新の知見が紹介された。これらの講演に対して、スウェーデンだけでなく北欧5ヶ国の参加者と活発な意見交換がなされた。一方、スウェーデンからは、ヨーロッパで行われている橋梁の持続可能性に関するプロジェ



写真 ジョイントセミナー関係者

クトや最新の補強技術が紹介され、日本同様にコンクリート構造物の維持管理が重要なトピックとなっている状況が示された。

なお、本セミナーは、土木学会学術交流基金の助成を受けて行われた。

(正会員 コンクリート委員会 国際連小委員会幹事長、名古屋大学 中村 光)

土木学会誌8月号、9月号 正誤表

土木学会誌8月号および9月号において誤りがございましたので、修正してお詫びいたします。

■8月号

個 所	正	誤
ミニ特集 第5章 土木遺産にいかに取り組むか? 38頁 図 土木遺産への取組み	文化的効果活用の支援	文化駅効果活用の支援

■9月号

個 所	正	誤
土木に見る数字 その2 58頁 上から2段目、右から13行目	9分の8	8分の9
新刊紹介 63頁 左下 『構造工学落穂拾い』 ●(株)パレード	03-3437-6877	03-3473-6877
NEWS 第35回土木学会関東支部技術発表会優秀発表者の表彰 68頁 下から2段目、写真キャプション	～(2007(平成19)年度)～	～(2008(平成20)年度)～